

団体情報	
団体番号	28
団体名	総合環境サークルエコロジー・ネットワーク
所属人数（前年度）	47

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 エコネットは、河川・里山・汽水域などの身近な自然環境を対象としたフィールド調査と、生物の飼育・観察を通じて、生態・形態・行動への理解を深めることを目的とする学生団体である。調査結果の整理や種同定の精度向上を図るとともに、学祭や学内展示、生体展示を通じて、学内外に対し自然環境や生物多様性の重要性を発信してきた。また、地域企業や住民との交流・環境学習活動を通じ、地域社会全体の環境意識向上にも寄与している。これらの活動を通じて、SDGsが掲げる質の高い教育と、陸域・水域の自然環境保全に貢献することを目指している。
	活動内容	Ⅰ．前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 部員同士がそれぞれの興味・関心を持つ生物について共有できるよう、日常的に意見交換や情報共有を行える環境づくりを心がけている。これにより、調査対象や活動内容の幅が広がるとともに、部員一人ひとりの主体性や専門性を生かした活動が可能となっている。 また、生物採取や調査で使用する高価な道具については、部員から徴収した部費を計画的に充当し、購入および維持管理を行っている。限られた資金の中でも優先順位を明確にし、道具を共同で使用する体制を整えることで、効率的かつ幅広い活動を継続的に実施できている。 さらに、部員同士の交流や分野ごとの理解を深めるため、「魚類、鳥類、昆虫、植物、両生類・爬虫類」の5つの部門を設立している。各部門には責任者を配置し、月に1回以上の部門活動を実施することで、特定分野に対する専門性の向上を図っている。加えて、部門の垣根を越えた全体活動も定期的に行うことで、異なる分野に興味を持つ部員同士が交流し、新たな視点や発想を得られる環境づくりに努めている。 ②社会や地域貢献活動 本団体では、生物採取活動の中で確認・捕獲した貴重な個体について、形態的特徴や生息環境を詳細に記録し、論文化して報告を行っている。これにより、大学で学ぶ専門知識や調査手法を実践的に活用し、学術的な知見の蓄積にも貢献している。また、地域企業である株式会社さんびる様との共同イベントへの参加を通じて、学外との連携を深め、地域社会に向けた環境啓発活動を行っている。さらに、「おちらと村ほたる祭り」ではバケツ水族館の展示を実施し、身近な水生生物を実物展示と解説によって紹介することで、来場者の生物や自然環境への関心を高める工夫を行っている。加えて、提携先のビオトープでは整備活動を行い、その過程で発見した生物を部員間で共有することで、生息地の保全だけでなく、生息環境や生態についての理解を深める学びの場としても活用している。

③その他アピールできること

幹部役員間で業務分担を明確化するとともに、各部門の責任者を幹部役員として新たに位置づける体制を整えた。これにより、企画立案や運営の負担が分散されると同時に、各分野の専門性を生かした多様な企画展開が可能となり、活動内容の幅を広げること成功している。また、活動時間以外でも部員同士が交流できる機会を意識的に設けることで、学年や専門分野を越えたつながりが生まれ、部内の一体感や協力体制の強化につながっている。



			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥154,119	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥102,000	2000円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥12,000	
		活動・イベント収入	¥10,000	おちらと村はたる祭り謝礼金
		寄付金	¥80,426	OG寄付金、自動車学校寄付金
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥0	
		収入合計	¥358,545	
	支出	備品等購入費	¥125,687	農機具、生物の餌代、 その他採取道具等の備品代
		施設等利用料	¥1,700	新歓や地域企業との共同イベントで利用した施設の利用料
		大会等参加費	¥6,774	
		広報活動費	¥0	
		交際費	¥6,413	新歓イベントでの食材代、 地域企業との共同イベントの際に配布したお菓子代
		交通費	¥41,499	ピオトープ整備や採取の遠征にかかるガソリン代とレンタカー代
		その他		
		支出合計	¥182,073	
	差引収支		¥176,472	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望事項※	大学に対する支援や要望	課外活動施設の利用細則にある生物飼育禁止の条項の撤廃と、部室の備え付けヒーターの撤去、可能であれば部室を3階から1階に移転させていただきたいです。飼育生物の運搬や他の部活の学生が安易に立ち入らないようにしていただきたい。エアレーションを勝手にいじられたり、備え付けの餌を無断で飼育水槽に投入されるなど、迷惑行為の防止を行いたいと考えています。また、部員には水槽や餌の管理を徹底し、部室の清掃による治安維持に務めるように周知しております。
	学外の団体等への要望	他大学の生物系サークルとの学術的交流

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。